大相撲一月場所

蔵前 國技館

さわやかエアーとのふれあい。

ユニクラ カークーラー・カーエアコン

ユニクラ®

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通 6 — 6 ☎〈052〉871—1471(代)

東京営業所 ☎〈03〉766－0551　大阪営業所 ☎〈06〉909－0393

名古屋営業所 ☎〈052〉882－0311　福岡営業所 ☎〈092〉472－0263

一月場所展望

“皆負けぬ顔や力士の土俵入り”

初春の、なんといっても一番の楽しみは大相撲初場所の十五日間だ。

絢爛豪華な化粧廻しをつけて土俵に上がる力士たちの胸には、きょうも、“必勝”の二文字が刻まれている。

三重ノ海の色白の膚を朱に染めての、力強い土俵入り、若乃花のゆったりと優雅な、そして北の湖が取り口そのままの豪快さを見せれば、輪島の貫録十分な力の入ったせりあがりと、四横綱各人各様の土俵入りは相撲観戦の楽しみを二倍にも三倍にもする。

“上手ほど名も優美なり角力取”

熱戦につぐ熱戦——。呼出しの美声に乗って人気力士が土俵に上がる。美男にウットリの女性ファン。技に期待は“通”のファン。

立行司木村庄之助の登場で本日も結びの一番。三重ノ海は三重県を代表するシコ名だし、若乃花はイメージぴったりで名は体を現わす。まさしく“名も優美なり”である。

この四横綱の“主役”を盛り上げるのが大関貴ノ花をはじめとした古豪、新鋭のしのぎ合いだ。

初場所は一九八〇年代スタートの場所。次期大関候補力士が台頭する場所になりそうだ、といっても過言ではない。

充実した“横綱城”に攻め込むヤング力士たちを見るのは初場所観戦の最大の楽しみだろう。一年の計は元旦にあり、お相撲さんにとっての一年の計は“初場所にある。

ごあいさつ

新年あけまして
おめでとうございます。

旧年中は皆様から格別の御支援、御厚情をいただきまして、まことにありがたく、心から御礼申し上げます。

本年は、さらに土俵内容の充実につとめ、相撲道発展のため、鋭意努力する決意でございます。

今場所は、横綱・大関以下稽古の成果を遺憾なく発揮し、皆様のご期待に添えるような相撲のだいご味を十分味わっていただけると存じます。

なにとぞ一層のご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

昭和五十五年一月六日

財団法人 日本相撲協会
理事長 春日野 清隆

綱

ZUNA

三重海

MIENOUMI TSUYOSHI

三重ノ海剛司(みえのうみつよし)【出羽海部屋】三重県松阪市
本名・石山五郎三一歳　身長一八一㎝　体重一三〇kg　左四つ・寄り切り　六六五勝五〇七敗
初土俵／三八年七月　新入幕／四四年九月　優勝／二回　殊勲賞／五回　敢闘賞／一回
技能賞／三回　場所数／一〇〇　金星／五

左を浅くのぞかせ、右上手まわしを取っての出し投げ、寄り。前さばきの巧さ天下一。

横

YOKO

若乃花

WAKANOHANA KANJI

若乃花幹士(わかのはなかんじ)【二子山部屋】青森県南津軽郡大鰐町

本名・下山勝則二六歳 身長一八七㎝ 体重一二七kg 左四つ・上手投 五〇五勝二六三敗

初土俵／四三年七月 新入幕／四八年一一月 優勝／三回 殊勲賞／二回 技能賞／四回

場所数／七〇 金星／三

左四つ。左前まわしを取っての速攻の寄りか、右からの上手投げだ。

綱

ZUNA

北の湖

KITANOUMI TOSHIMITSU

北の湖敏満(きたのうみとしみつ)【三保ヶ関部屋】 北海道有珠郡壮瞥町

本名・小畑敏満 二六歳　身長一八〇㎝　体重一六五㎏　左四つ・寄り切り　六八六勝二六九敗

初土俵／四二年一月　新入幕／四七年一月　優勝／一七回　殊勲賞／二回　敢闘賞／一回

場所数／七九　金星／一

左四つ、寄りが得意手だ。しかし、右を差しての寄りも完璧。円熟期に入ってきた。

横

YOKO

輪島

WAJIMA HIROSHI

輪島大士（わじまひろし）【花籠部屋】石川県七尾市

本名・輪島博三一歳 身長一八四cm 体重一二九kg 左四つ・寄り切り 六一四勝二〇七敗

初土俵／四五年一月 新入幕／四六年一月 優勝／一三回 殊勲賞／三回 敢闘賞／二回

場所数／六一

〝黄金の左腕〟だが、右からのおっつけが強力な武器。巧技はさすが。

増位山

関脇
SEKIWAKE

MASUIYAMA

増位山太志郎(ますいやまだいしろう)【三保ヶ関部屋】兵庫県姫路市　本名・沢田昇　31歳　身長182cm 体重 112kg　右四つ・上手投　541勝491敗 初土俵／42年１月　新入幕／45年３月　技能賞／４回　場所数／79　金星／４

手八丁、口八丁、足八丁――。内掛け、無双は名人。

貴ノ花

大関
OZEKI

TAKANOHANA TOSHIAKI

貴ノ花利彰(たかのはなとしあき)【二子山部屋】青森県弘前市　本名・花田満　29歳　身長 183cm　体重 111kg　左四つ・吊り・寄り　673勝446敗　初土俵／40年５月　新入幕／43年11月　優勝２回　殊勲賞／３回　敢闘賞／２回　技能賞／４回　場所数／89 金星／１回

左四つ、吊り、寄り。立ち合いに一切変化しない正攻法が魅力である。

玉ノ富士

小結
KOMUSUBI

TAMANOFUJI

玉ノ富士茂(たまのふじしげる)【片男波部屋】栃木県那須郡小川町　本名・阿久津茂　30歳　身長 185cm　体重 121kg　右四つ・寄り・突出し 363勝316敗　初土俵／45年9月　新入幕／49年9月　殊勲賞／1回　敢闘賞／2回　場所数／57　金星／1

最近、引き技を用いなくなったのは大進歩。右下手をとって、怪力を利しての寄りだ。

栃赤城

TOCHIAKAGI

栃赤城雅雄(とちあかぎまさお)【春日野部屋】群馬県沼田市　本名・金谷雅男　25歳　身長 181cm　体重 135kg　右四つ・寄り　245勝197敗　初土俵／48年1月　新入幕／52年5月　敢闘賞／2回　殊勲賞／2回　場所数／43　金星／3

人呼んで"サーカス相撲"という。右差しは十分。左からの攻めが問題だ。

小結
KOMUSUBI

黒瀬川

KUROSEGAWA
黒瀬川国行（くろせがわくにゆき）【伊勢ヶ浜部屋】
東京都東村山市　本名・酒井健作　28歳　身長184cm　体重129kg　突き・押し　385勝343敗　初土俵／41年1月　新入幕／53年5月　場所数／85

右腕の硬さは抜群。左を差しての真一文字の寄りはクロウト好みのする取り口。

前頭
MAEGASHIRA

東前頭1
栃光

TOCHIHIKARI
栃光興福（とちひかりこうふく）【春日野部屋】宮崎県児湯郡高鍋町　本名・金城興福
二六歳　身長一八三cm　体重一三八kg
左四つ・寄り切り　三九〇勝三五八敗
初土俵／四四年九月　新入幕／四九年九月
敢闘賞／二回　場所数／六三　金星／二

右いちがいが、矯正されて、正攻法相撲に変われば大関も――。

西前頭1
隆の里

TAKANOSATO
隆の里俊英（たかのさととしひで）【二子山部屋】青森県南津軽郡浪岡町　本名・高谷俊英
二七歳　身長一八〇cm　体重一一九kg
左四つ・吊り　三七一勝三四七敗
初土俵／四三年七月　新入幕／五〇年五月
敢闘賞／一回　場所数／七〇

右差し手の返しを覚えたことが、上位定着の原因だ。腰が重く、地力はある。

東前頭2

荒勢

ARASE
荒勢永英(あらせながひで)
【花籠部屋】高知県吾川郡伊野町 本名・荒瀬英生
三〇歳 身長一七六cm 体重一五一kg
右四つ・押出し 三五五勝三三一五敗
初土俵 四七年一月 新入幕/四八年七月
殊勲賞/一回 敢闘賞/二回 技能賞/一回
場所数/四九 金星/一

右を差すと、一呼吸もせずに前に走っての"がぶり寄り"。最近、出足が劣えた。

西前頭2

鷲羽山

WASHUYAMA
鷲羽山佳和(わしゅうやまよしかず)
【出羽海部屋】岡山県倉敷市 本名・鈴木佳員
三〇歳 身長一七三cm 体重一一〇kg
突張り 四四六勝三八五敗
初土俵/四二年三月 新入幕/四八年五月
敢闘賞/三回 技能賞/五回 場所数/七八
金星/二

"今牛若丸"は突き、押しの正攻法から、土俵際の突落としなど、目まぐるしい動き。

東前頭3

豊山

YUTAKAYAMA
豊山広光(ゆたかやまひろみつ)
【時津風部屋】新潟県新発田市 本名・長浜広光
三二歳 身長一八五cm 体重一二七kg
右四つ・突き出し・四三六勝四二五敗
初土俵/四五年三月 新入幕/四六年一一月
殊勲賞/一回 敢闘賞/二回 場所数/六〇 金星/七

右四つ、つり、寄りが得意。土俵態度はまじめだが、体力は全盛期を過ぎた。

西前頭3

富士櫻

FUJIZAKURA
富士桜栄守(ふじざくらよしもり)
【高砂部屋】山梨県甲府市 本名・中沢栄男
三一歳 身長一七八cm 体重一三五kg
突き・押し 五九七勝五八三敗
初土俵 三八年三月 新入幕 四六年九月
敢闘賞 一回 技能賞 三回 殊勲賞 二回
場所数 一〇二 金星/五

けいこ場の取り口そのままが本場所の土俵に現われている。気っぷのいい突き、押し。

黒姫山 東前頭4

KUROHIMEYAMA
黒姫山秀男(くろひめやまひでお)
【立浪部屋】新潟県西頸城郡青海町　本名・田中秀男
三二歳　身長一八三cm　体重一四二kg
押出し　五九八勝五七八敗
初土俵　三九年三月　新入幕／四四年七月
殊勲賞／四回　敢闘賞／三回　技能賞／一回
場所数／九六　金星／六

立ち合いのぶちかましに威力がある。パワフルな突進相撲が魅力だ。

琴若 西前頭4

KOTOWAKA
琴若央雄(ことわかちかお)
【佐渡ヶ嶽部屋】北海道増毛郡増毛町　本名・香島春男
二五歳　身長一九七cm　体重一三九kg
右四つ・突張り・寄り　二四七勝二〇七敗
初土俵／四六年七月　新入幕　五三年三月
場所数／五二

二㍍近い巨人。長いリーチから繰り出す突っ張りに威力が加わると、大関級。

天ノ山 東前頭5

AMANOYAMA
天ノ山静男(あまのやましずお)
【時津風部屋】佐賀県多久市　本名・尾形静男
二六歳　身長一九〇cm　体重一七三kg
突き・押し　一五三勝一二〇敗
初土俵／五一年三月　新入幕／五三年三月
敢闘賞／一回　場所数／二四

巨体をまともにぶつけて前に走る姿は高見山を思わせる。突き、押し相撲で期待は大。

巨砲 西前頭5

OHZUTSU
巨砲丈士(おおづつたけし)
【大鵬部屋】三重県四日市市　本名・松本隆年
二三歳　身長一八一cm　体重一三一kg
右四つ・寄り・上手投　一四六勝一九一敗
初土俵／四六年五月　新入幕／五四年三月
場所数／五三　敢闘賞／一回　金星／二

右前まわしをとって頭をつけて食い下がれば、横綱だって〝そうはいかない〟。

出羽の花
東前頭6

DEWANOHANA
出羽の花義貴(でわのはなよしたか)
【出羽海部屋】青森県北津軽郡中里町　本名・野村双一
二八歳　身長一八五cm　体重一一六kg
右四つ・寄り・上手投　二三二勝二〇七敗
初土俵／四九年三月　新入幕／五二年一一月
敢闘賞　二回　場所数／三六　金星／一

右の握力が八六キロ。右前まわしをとっての寄りは威力がある。

蔵間
西前頭6

KURAMA
蔵間龍矢(くらまたつや)
【時津風部屋】滋賀県野洲町　本名・蔵間龍也
二七歳　身長一八八cm　体重一三一kg　左四つ・吊り・寄り　三五九勝三一九敗
初土俵／四三年九月　新入幕／五一年七月
敢闘賞／一回　技能賞／一回　場所数／六九　金星／一

腰痛というやっかいな〝爆弾〟をかかえるが、左四つの相撲は本格派。

朝汐
東前頭7

ASASHIO
朝汐太郎(あさしおたろう)
【高砂部屋】高知県室戸市　本名・長岡末弘
二四歳　身長一八〇cm　体重一六八kg
突き・押し　八六勝六三敗
初土俵／五三年三月　新入幕／五三年一一月
敢闘賞／二回　場所数／一二

一七〇キロの大きな体だから、前に出るだけでいい。離れて取ることに徹底することだ。

青葉城
西前頭7

AOBAJO
青葉城幸雄(あおばじょうゆきお)
【押尾川部屋】宮城県仙台市　本名・庄司幸雄
三一歳　身長一七九cm　体重一四三kg　左四つ・寄り切り・吊出し　五二〇勝五一四敗
初土俵／三九年三月　新入幕／五〇年一月
敢闘賞／一回　場所数／九六　金星／一

左四つ、がっぷり四つになってから、じっくりと攻める。江戸時代的相撲取り。

千代の富士
東前頭8

CHIYONOFUJI
千代の富士貢(ちよのふじみつぐ)
【九重部屋】北海道松前郡福島町　本名・秋元貢
二四歳　身長一八二cm　体重一〇四kg
右四つ・吊り・上手投　三二六勝二七九敗
初土俵／四五年九月　新入幕／五〇年九月
敢闘賞／一回　場所数／五七

気の強い"ウルフ"は、一〇〇キロ台なのに取り口は真っ正直。上手投げが豪快だ。

双津竜
西前頭8

FUTATSURYU
双津竜順一(ふたつりゅうじゅんいち)
【時津風部屋】北海道室蘭市　本名・山本順一
二九歳　身長一八五cm　体重一六五kg
右四つ・寄り切り　五八四勝五五四敗
初土俵　三八年九月　新入幕　四七年三月
場所数　九九

右を差すと、少々半身の体勢でグイグイと前に出る。体力があるので効果的な寄り。

照の山
東前頭9

TERUNOYAMA
照の山栄一(てるのやまえいいち)
【立浪部屋】千葉県木更津市　本名・岩下栄一
二四歳　身長一八一cm　体重一三七kg
押し　二六〇勝二二三敗
初土俵／四六年一一月　新入幕／五二年七月
場所数／五〇

勝っても負けても、行司さんの声は短かい。ぶちかましてからの押しが生命だ。

青葉山
西前頭9

AOBAYAMA
青葉山弘年(あおばやまひろとし)
【木瀬部屋】宮城県黒川郡大郷町
本名・高橋幸一　二九歳　身長一八八cm
体重一三〇kg　右四つ・吊出し　三八六勝三四九敗
初土俵／四三年一一月　新入幕／五〇年一一月
敢闘賞／一回　技能賞／一回　場所数／六八

右四つ、左上手を取るとつり、上手投げなどがあるが、差し手争いはいつも負け——。

東前頭10

三杉磯

MISUGIISO
三杉磯豊秀(みすぎいそとよひで)
【花籠部屋】青森県八戸市　本名・上沢秀則
二三歳　身長一八八㎝　体重一二〇kg
左四つ・寄り　一六五勝一三七敗
初土俵／四六年三月　新入幕／五二年一一月
場所数／五四　金星／二

相撲センスはいいのだが、攻撃が遅い。正攻法の左四つ、寄りにみがきがかかると——。

西前頭10

舛田山

MASUDAYAMA
舛田山靖仁(ますだやまやすひと)
【春日野部屋】石川県七尾市　本名・舛田茂
二八歳　身長一八八㎝　体重一四四kg
右四つ・突き・押し　一三〇勝一二七敗
初土俵／四九年三月　新入幕／五一年一一月
場所数／三六

腰高の欠点は直らないままだが、とにかく先手必勝で、考えずに前に出るのがよい。

東前頭11

魁輝

KAIKI
魁輝薫秀(かいきのぶひで)
【友綱部屋】青森県上北郡天間林村　本名・西野政章
二七歳　身長一八三㎝　体重一四四kg
右四つ・寄り・突張り　四五五勝四三九敗
初土俵／四〇年九月　新入幕／五〇年一一月
敢闘賞／一回　場所数／八七　金星／一

突っ張りで攻めたあと、右四つになっての寄り。速攻相撲が身につけば楽しみだが。

西前頭11

高見山

TAKAMIYAMA
高見山大五郎(たかみやまだいごろう)
【高砂部屋】米国ハワイマウイ島
本名・ジェシー・クハウルア　三五歳　身長一九二㎝
体重一九二kg　右四つ・突張り　六四一勝六三三敗
初土俵／三九年三月　新入幕／四三年一月　優勝／一回
殊勲賞／六回　敢闘賞／三回　場所数／九六　金星／一二

人気者。なんの説明もいらないはず。強い時は"電車道"。弱い時は土俵にひび割れ。

蔵玉錦 東前頭12

ZAONISHIKI

蔵玉錦敏正(ざおうにしきとしまさ)
【鏡山部屋】山形県山形市 本名・安達敏正
二七歳 身長一八三cm 体重一三一kg
左四つ・寄り切り・ 三一七勝二八四敗
初土俵/四五年九月 新入幕/五一年一一月
場所数/五七

徐々に実力をつけてきた。左四つ、右上手を取っての寄りにも自信が出てきた。

鳳凰 西前頭12

HOO

鳳凰倶往(ほおうともみち)
【二所ノ関部屋】愛知県蒲郡市 本名・壁谷友道
二三歳 身長一七七cm 体重一四一kg
左四つ・寄り 二三一勝一八八敗
初土俵/四六年九月 新入幕/五四年七月
場所数/五一

重い腰。どっしりとした強さが身についてきた。右四つからの寄り、外掛けが武器。

麒麟児 東前頭13

KIRINJI

麒麟児和春(きりんじかずはる)
【二所ノ関部屋】千葉県柏市、本名・垂沢和春
二六歳 身長一八二cm 体重一四三kg
突き・押し 四一六勝三六七敗
初土俵/四二年五月 新入幕/四九年九月 敢闘賞/二回
技能賞/三回 殊勲賞/四回 場所数/七七 金星/三

機関銃のような突き、押し相撲は見ていて気持ちがいい。

満山 西前頭13

MITSURUYAMA

満山修(みつるやまおさむ)
【大鵬部屋】長崎県北高来郡森山町 本名・田中修
二四歳 身長一八八cm 体重一一五kg
右四つ・寄り・上手投 二四四勝二〇〇敗
初土俵/四六年一月 新入幕/五四年九月
場所数/五五

長身で足腰がよく投げもある二場所目でカンバック

闘竜
東前頭14

TORYU
闘竜賢二(とうりゅうけんじ)
【三保ヶ関部屋】岳庫県加古川市　本名・田中賢二
二一歳　身長一七九㎝　体重一三九kg
左四つ・上手投げ・押し　一六二勝一二四敗
初土俵／四九年三月　新入幕／五四年一一月
場所数／三六

三保ヶ関部屋期待のホープ。まわしを欲しがらずがむしゃらに前に走れば、望み大。

琴風
西前頭14

KOTOKAZE
琴風豪規(ことかぜごうき)
【佐渡ヶ嶽部屋】三重県津市　本名・中山浩一
二二歳　身長一八二㎝　体重一五〇kg
左四つ・寄り　二五四勝一八八敗
初土俵／四六年七月　新入幕／五二年一月
殊勲賞／二回　場所数／五二　金星／三

「左ヒザ」のケガも完治六場所ぶりの幕内返咲き。左四つ、寄り、押しが得意。

十両
JYURYO

玉輝山
東十両1

TAMAKIYAMA
【片男波部屋】福岡県糸島郡前原町　本名・萩尾正則　二八歳
身長一八二㎝　体重一三五kg　右四つ・寄り切り
初土俵／三九年五月　新十両／四六年九月　四九九勝四八二敗
場所数／九五

飛騨乃花
西十両1

HIDANOHANA
【二子山部屋】岐阜県大野郡朝日村　本名・平林修　二六歳
身長一八二㎝　体重一二三kg　右四つ・上手投げ
初土俵／四四年三月　新十両／五四年七月
二四七勝二二五敗　場所数／六六

大剛

東十両2

DAIGO

【花籠部屋】秋田県山本郡山本町　本名・板倉昇　二七歳
身長一八五㎝　体重一一四㎏　なまくら・四つ・寄り切り
初土俵／四一年五月　新十両／五〇年三月
四〇六勝三七二敗　場所数／八三

高鐵山

東十両3

KOTETSUYAMA

【大鳴戸部屋】大分県臼杵市　本名・板井圭介　二三歳
身長一七六㎝　体重一二六㎏　突き・押し
初土俵／五三年九月　新十両／五四年九月
五三勝一五敗　場所数／九

琴乃富士

東十両4

KOTONOFUJI

【佐渡ヶ嶽部屋】北海道虻田郡留寿都村　本名・藤沢宗義　二八歳
身長一八〇　体重一三七㎏　右四つ・寄り切り
初土俵／四二年五月　新十両／四七年一一月
四四一勝四一九敗　場所数／七七

神幸

西十両2

SHINKO

【伊勢ヶ浜部屋】山形県西置賜郡小国町　本名・小林二男　三〇歳
身長一八七㎝　体重一二六㎏　左四つ・上手投げ
初土俵／四一年九月　新十両／五一年九月
三三一勝二八六敗　場所数／八一

影虎

西十両3

KAGETORA

【九重部屋】岩手県九戸郡軽米町　本名・滝沢和彦　二五歳
身長一八二㎝　体重一一四㎏　左四つ・突き・押し
初土俵／四三年一一月　新十両／五三年一一月
三〇二勝二五六敗　場所数／六八

佐田の海

西十両4

SADANOUMI

【出羽海部屋】大阪府堺市　本名・松村宏司　二三歳
身長／一八〇㎝　体重一二四㎏　左四つ・寄り
初土俵／四七年三月　新十両／五三年三月
一九一勝一六三敗　場所数／四八

翠竜

東十両5

SUIRYU

【立浪部屋】千葉県千葉市　本名・平井浩二　二六歳
身長一七七cm　体重一二一kg　左四つ・食い下がり
初土俵／四三年七月　新十両／五二年七月
三〇九勝二七〇敗　場所数／七〇

松山

東十両6

MATSUYAMA

【宮城野部屋】東京都板橋区　本名・松山育夫　二七歳
身長一八〇cm　体重一三七kg　右四つ・寄り・突き
初土俵／四六年一月　新十両／五四年五月
二一八勝一八五敗　場所数／五五

大旺

東十両7

DAIO

【二子山部屋】富山県新湊市　本名・荒谷邦治　三〇歳
身長一八六cm　体重九九kg右四つ・吊り・寄り
初土俵／三九年一一月　新十両／四七年五月
五〇五勝四八六敗　場所数／九二

琴千歳

西十両5

KOTOCHITOSE

【佐渡ヶ嶽部屋】北海道千歳市　本名・山本稔　二三歳
身長一八二cm　体重一二八kg　左四つ・寄り
初土俵／四六年七月　新十両／五四年九月　一八三勝一四三敗
場所数／五二

谷嵐

西十両6

TANIARASHI

【時津風部屋】大分県下毛郡本耶馬渓町　本名・山口久　二七歳
身長一八〇cm　体重一二三kg　突き・押し
初土俵／四六年一月　新十両／五二年五月
二七四勝二一三敗　場所数／五五

大潮

西十両7

OSHIO

【時津風部屋】福岡県北九州市　本名・波多野兼二　三二歳
身長一八五cm　体重一三一kg　左四つ・寄り切り
初土俵／三七年一月　新十両／四四年一一月　技能賞／一回
金星／一　六一五勝五五九敗　場所数／一〇九

若獅子
東十両8

WAKAJISHI
【二子山部屋】青森県上北郡上北町　本名・和田耕三郎　三一歳
身長一七三㎝　体重一二五kg　右四つ・寄り切り
初土俵／三九年五月　新十両／四六年一月　敢闘賞／一回
五三七勝五二九敗　場所数／九五　金星／一

白竜山
東十両9

HAKURYUYAMA
【時津風部屋】兵庫県姫路市　本名・奥村素久　二五歳
身長一七八㎝　体重一一七kg　左四つ・突き・投げ
初土俵／四四年九月　新十両／五四年三月
二四五勝二〇六敗　場所数／六三

大觥
東十両10

TAIKO
【二子山部屋】青森県青森市　本名・横山吉男　二六歳
身長一七五㎝　体重一三〇kg　左四つ・寄り
初土俵／四三年一一月　新十両／五〇年七月
三一七勝二八〇敗　場所数／六八

大錦
西十両8

ONISHIKI
【出羽海部屋】新潟県佐渡郡羽茂町　本名・尾堀盛夫　二六歳
身長一八四㎝　体重一三四kg　左四つ・寄り切り
初土俵／四三年五月　新十両／四八年五月　殊勲賞／一回　敢闘賞／一回
技能賞／一回　四〇二勝三七九敗　場所数／七一　金星／三

魄龍
西十両9

HAKURYU
【鏡山部屋】山形県東田川郡藤島町　本名・大沼弘　二五歳
身長一七五㎝　体重一二一kg　右四つ・寄り
初土俵／四四年一一月　新十両／五四年五月
二三九勝二一三敗　場所数／六二

大飛
西十両10

DAIHI
【大山部屋】愛知県名古屋市　本名・小椋進　二七歳
身長一八五㎝　体重一二四kg　左四つ・突き・投げ
初土俵／四三年三月　新十両／四九年七月
三三六勝三一九敗　場所数／七二

翔鵬　東十両11

SHOHO

【大鵬部屋】新潟県新潟市　本名・村山修一　二三歳
身長一八三㎝　体重一二三kg　左四つ・寄り
初土俵／四六年九月　新十両／五五年一月
一八一勝一四四敗　場所数／五一

若越　東十両12

JYAKUETSU

【二所ノ関部屋】福井県丹生郡越前町　本名・島田英雄　二八歳
身長一八三㎝　体重一一八kg　右四つ・寄り
初土俵／四二年五月　新十両／五四年三月
二七七勝二四三敗　場所数／七七

大富士　東十両13

OHFUJI

【九重部屋】東京都大田区　本名・伊藤敬司　二一歳
身長一九二㎝　体重一三五kg　左四つ・寄り
初土俵／四九年九月　新十両／五三年七月
一三三勝一〇〇敗　場所数／三三

大寿山　西十両11

DAIJYUYAMA

【二子山部屋】新潟県新津市　本名・坂爪忠明　二〇歳
身長一八二㎝　体重一二五kg　右四つ・寄り
初土俵／五〇年三月　新十両／五五年一月
一一一勝八五敗　場所数／三〇

大徹　西十両12

DAITETSU

【二所ノ関部屋】福井県大野市　本名・南忠晃　二三歳
身長一九二㎝　体重一〇七kg　左四つ・吊り
初土俵／四六年七月　新十両／五五年一月
一七九勝一五七敗　場所数／五二

初代式守伊之助義則使用の軍配

明和4年（1767）より寛政5年（1793）まで26年間次席行司として土俵をつとめたとき使用した軍配。尚伊之助は寛保3年（1743）静岡県南伊豆町に生れ、伊勢ノ海五太夫の門人となり、力士を志願したが体が小さいため行司となる。寛政3年徳川家斉公上覧相撲に木村庄之助の次席行司として格式の面目をきずきあげた。

番附

相撲番附は、力士、年寄、行司等の地位、階級を示す一覧表で、本場所終了後に審判部による番附編成会議の決定により作成されますが、新番附の発表は次場所の十三日前とされています。しかし横綱、大関及び十枚目の昇進のみは、番附編成会議の当日に発表します。番附編成会議は国技館または地方場所の会場で行われますが、江戸時代は両国から屋形船を仕立てて、両国橋より向島あたりまで、隅田川を二・三回上下しながら、船上で番附編成会議を行なったといわれております。

番附の番は、つがいのことで、必らず東西にわかれて、組合っているところから番附といいます。一、二〇〇年前の平安朝の相撲節会時代には、取組のことを手番（てつがい）といい、また江戸勧進相撲時代に入ると、取組表のことを番文（つがいぶみ）といっておりました。

板番附

相撲番附が、はじめて作られたのは、勧進相撲が繁栄しはじめた頃の元禄年間（一六八八～一七〇三）からですが、この頃は木版刷の紙番附はまだ発行されず、すべて一枚の大きな板に書かれた板番附でした。木版刷の番附のように、大量に作られませんから、相撲場のやぐらの下とか、町の盛り場等の限られた場所に掲示されました。

板番附のかたちが、将棋の駒のように、庵型をしているところから、庵番附ともよんでいましたが、板番附の特徴は、相撲興行の際に大入りを願って、天井の庵の部分が、入の字になっていることです。

現在相撲博物館に保存されている最古の板番附は、天明年間（一七八一～八八）に谷風梶之助が、弟でしの鷲ヶ嶽武太夫のために、出生地の横浜の新治で巡業を行なったときのもので、高さ一米六〇、横幅一米四〇あって現在の板番附とほとんど変らないほどの大きなものです。

紙番附

相撲博物館に保存されている、最も古い木版刷の紙番附は、享保十七年（一七三二）の京都番附で、東方と西方が別々の紙に刷られた、横長の二枚番附です。当時相撲の中心は京都、大阪で大阪相撲も、京都相撲と同じ形の二枚番附を発行しておりました。

その後宝暦年間に入り、江戸相撲が京都、大阪に代って、相撲の中心地となりはじめた宝暦七年（一七五七）に、江戸相撲の権威と存在を示すために、当時としては画期的な新機軸の、縦長の一枚番附を発行しました。当初の番附は七段あって、本中相撲と前相撲の力士名も記載されていましたが、明和八年三月（一七七一）より現在同様の五段番附となって『比外中前相撲東西ニ御座候』と省略されました。番附の形態は、その後多少の変遷はありますが、この形で今日迄二百年以上にも及んでいます。

番附に書かれている文字は、芝居の勘亭流や、寄席文字とは全く別個なもので、相撲独特のお家流ともいえるものです。江戸時代より行司が、番附を書いていましたが、明治に入ってからしばらく、番附の版元をしている三河屋・根岸治右衛門が番附を書いていたの

で、相撲字のことを根岸流ともよんでいたことがあります。大正に入ってからは、再び行司が番附を書くようになり、昭和四十一年十一月場所より三役格行司の式守与太夫がその任に当っております。

御免札

やぐらの下に建てられる御免札は、江戸時代に幕府のとった興行御免制度に由来するものです。当時寺社奉行より相撲興行の許可と、相撲やぐらの建設のお許しが出ると、これを祝って、御免祝が相撲会所で行われます。またこの御免祝の当日に、許可のおりた證として、『蒙御免』と書かれた御免札が、板番附同様に、やぐらの下の他に、町の盛り場に建てられます。御免札は高さ二米、横幅三〇糎の細長で、縁起をかついで板番附同様に、庵の部分が入の字になっています。

のぼり

正式には、力士のぼり旗といい、力士のしこ名や、相撲部屋、勧進元の名を染めぬいた布でできていて、長さ四、五米、幅一米の長旗で、後援会または贔屓筋から贈られます。江戸勧進相撲時代より、相撲場の入口や、その周辺にたてられました。

『両国や、のぼりの林に、
　たるの山』

このように、明治三十四、五年頃は、回向院の門前から両国橋を渡って、柳橋あたりまでにかけて、七百本以上の力士のぼりが立ち並んだといわれております。

しかし明治四十二年六月に、両国国技館が新設された時、当時西洋文化の粋を集めて建設された、近代的建物の国技館に相応しくないと、力士のぼりを廃止しました。しかし、これは両国国技館だけで、地方場所や巡業では、相撲興行の風物詩として残されておりました。

その後国技館に、力士のぼりが復活したのは、戦後蔵前国技館で本場所が開催されてから三年目の、昭和二十七年一月場所からで、五丈三尺の相撲やぐらと共に、色とりどりの華やかに立ち並ぶ力士のぼりは、相撲場には欠かすことのできない情緒豊かなものであります。

相撲やぐら

江戸時代には、相撲の他に、芝居や勧進能等にもやぐらがありましたが、相撲のやぐらほど高くはありませんでした。これというのは、当時徳川幕府が江戸府内に於て、火の見やぐら、鳥見やぐら、相撲やぐらの他には高いものを建てるのを禁じていたからです。そのため相撲やぐらを建てるたびに、寺社奉行を通して、幕府の鳥見役の許可が必要でした。許可が下りると、相撲会所で御免祝いが行われます、この日のことを、やぐら祝ともいっておりました。

現在のように、やぐらの高さが五丈三尺(一六米)と決められたのは天保年間(一八三〇～四三)からで、相撲興行の始まる一週間前の、大安で酉の日に建てるのが縁起が良いとされております。やぐらの建設は、例え風雨、雷雪であろうと二日間で完成しなければならないことになっております。

やぐらの最上段の屋根から、二本の竹竿が天に向って差し出されています、これを「出し幣」といい、この先端に麻の御幣がついています。「出し幣」は天の神さまに、晴天が続くようにとの願いが込められると共に、国家安穏、天下泰平、五穀豊穣を祈るものです。

やぐらの上では、呼出しによって、やぐら太鼓が打たれます。やぐら太鼓の種類は、現在では午前八時頃に打つ一番太鼓と、打出し後のはね太鼓の二つだけです。

昭和54年度記録

❖昭和54年度幕内在位勝星順位表❖

順位	力士名	1月場所 勝－敗	3月場所 勝－敗	5月場所 勝－敗	7月場所 勝－敗	9月場所 勝－敗	11月場所 勝－敗	合計 勝－敗	備考
1	北の湖	優勝 14－1	優勝 15－0	13－2	12－3	優勝 13－2	10－5	77－13	優勝3回
2	三重ノ海	11－4	10－5	13－2	14－1	11－4	優勝 14－1	73－17	優勝1回
3	若乃花	11－4	12－3	優勝 14－1	11－4	11－4	12－3	71－19	優勝1回
4	輪島	10－5	12－3	12－3	優勝 14－1	10－5	10－5	68－22	優勝1回
5	貴ノ花	9－6	9－6	9－6	9－6	10－5	9－6	55－35	
6	栃赤城	6－9	敢闘賞 10－5	7－8	殊勲賞 9－6	6－9	殊勲賞 10－5	48－42	殊勲賞2回 敢闘賞1回
7	増位山	6－9	8－7	6－9	8－7	技能賞 8－7	技能賞 11－4	47－43	技能賞2回
8	黒瀬川	8－7	6－9	9－6	6－9	9－6	8－7	46－44	
9	朝汐	敢闘賞 10－5	5－10	6－9	6－9	敢闘賞 10－5	7－8	44－46	敢闘賞2回
	栃光	敢闘賞 12－3	6－9	5－10	9－6	2－13	10－5	44－46	敢闘賞1回
11	玉ノ富士	8－7	4－11	6－9	9－6	殊勲賞 8－7	敢闘賞 8－7	43－47	殊勲賞1回 敢闘賞1回
12	魁輝	8－7	10－5	敢闘賞 8－7	3－12	9－6	4－11	42－48	敢闘賞1回
	双津竜	7－8	8－7	10－5	4－11	8－7	5－10	42－48	
	荒勢	8－7	8－7	5－10	8－7	3－12	10－5	42－48	
15	青葉城	9－6	3－12	8－7	6－9	10－5	5－10	41－49	
	舛田山	6－9	6－9	8－7	6－9	10－5	5－10	41－49	
	黒姫山	殊勲賞 8－7	殊勲賞 8－7	4－11	7－8	6－9	8－7	41－49	殊勲賞2回
18	出羽の花	6－9	5－10	8－7	敢闘賞 10－5	8－7	3－12	40－50	敢闘賞1回
19	琴若	4－11	7－8	8－7	8－7	4－11	8－7	39－51	
20	天ノ山	十両	8－7	8－7	7－8	9－6	6－9	38－37	
	三杉磯	4－11	7－8	8－7	8－7	6－9	5－10	38－52	
	青葉山	4－11	10－5	5－10	5－10	8－7	6－9	38－52	

❖昭和54年度優勝力士❖

	幕内	十枚目	幕下	三段目	序二段	序ノ口
1月場所	東張出横綱 北の湖 (三保ケ関) 14勝1敗 15回目	東4 大潮 (時津風) 11勝4敗	東45 王湖 (友綱) 6勝1敗	西22 富士の龍 (九重) 7戦全勝	西24 板井 (大鳴戸) 7戦全勝	東16 八戸 (押尾川) 7戦全勝
3月場所	東横綱 北の湖 (三保ケ関) 15戦全勝 16回目	東2 隆ノ里 (二子山) 11勝4敗	東1 松山 (宮城野) 7戦全勝	東34 板井 (大鳴戸) 7戦全勝	西14 江戸乃海 (片男波) 7戦全勝	西13 清の富士 (九重) 6勝1敗
5月場所	西横綱 若乃花 (二子山) 14勝1敗 3回目	西1 照の山 (立浪) 12勝3敗	東1 大錦 (出羽海) 7戦全勝	西5 大木龍 (朝日山) 7戦全勝	西31 宮城花 (友綱) 7戦全勝	東5 北尾 (立浪) 7戦全勝
7月場所	東張出横綱 輪島 (花籠) 14勝1敗 13回目	東2 満山 (大鵬) 10勝5敗	西7 佐田の海 (出羽海) 7戦全勝	東84 大韓山 (友綱) 7戦全勝	西84 保志 (九重) 7戦全勝	西34 畠野 (伊勢ケ浜) 7戦全勝
9月場所	西横綱 北の湖 (三保ケ関) 13勝2敗 17回目	西11 琴千歳 (佐渡ケ嶽) 10勝5敗	西8 琴風 (佐渡ケ嶽) 7戦全勝	東49 太擁 (片男波) 7戦全勝	西48 畠野 (伊勢ケ浜) 7戦全勝	西31 関沢 (鏡山) 7戦全勝
11月場所	西横綱大関 三重ノ海 (出羽海) 14勝1敗 2回目	西11 琴風 (佐渡ケ嶽) 14勝1敗	西32 琴藤沢 (佐渡ケ嶽) 7戦全勝	西40 大玄海 (宮城野) 7戦全勝	東53 賜錦 (出羽海) 7戦全勝	西3 栃ノ郷 (春日野) 7戦全勝

❖昭和54年度三賞受賞力士❖

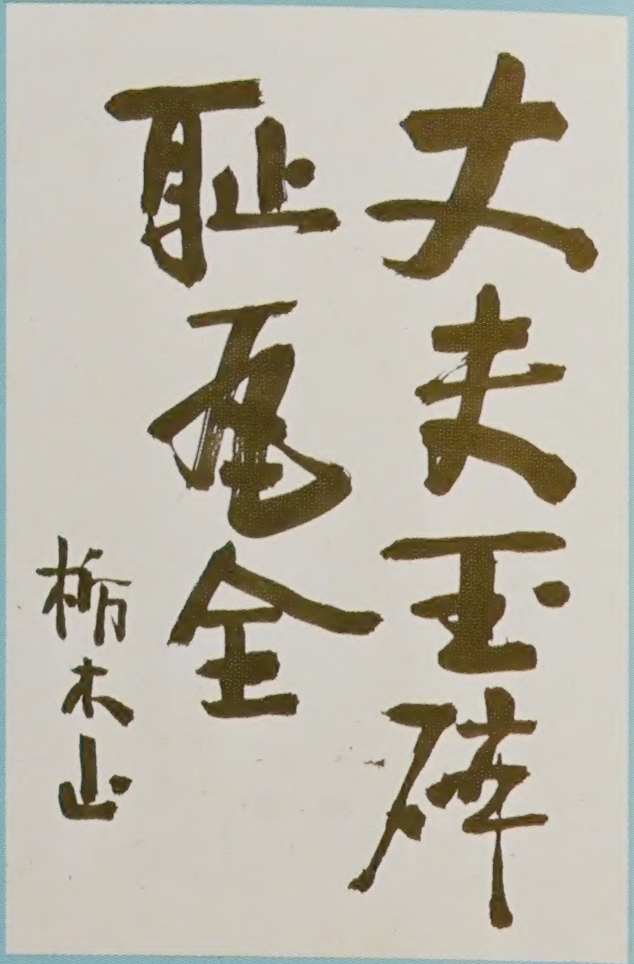
	殊勲賞	敢闘賞	技能賞
1月場所	前3 黒姫山	前6 長岡 前7 金城	前4 富士桜
3月場所	前1 黒姫山	前4 栃赤城	該当者なし
5月場所	該当者なし	小結 魁輝 前9 巨砲	該当者なし
7月場所	関脇 栃赤城	前11 出羽の花	該当者なし
9月場所	前1 玉ノ富士	前14 朝汐	小結 増位山
11月場所	前1 栃赤城	小結 玉ノ富士	関脇 増位山

❖年間最多勝力士(昭和33年6場所制より)❖

年度	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年		43年	44年	45年		46年	47年	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年
力士名	若乃花	栃錦	大鵬	大鵬	大鵬	大鵬	大鵬	佐田の山	柏戸	大鵬	柏戸	玉乃島	北の富士	玉の海	北の富士	北の富士	輪島	輪島	北の湖	北の湖	輪島	北の湖	北の湖	北の湖
成積	75勝14敗1分	77勝13敗	66勝24敗	71勝19敗	77勝13敗	81勝9敗	66勝11敗10休	74勝16敗	71勝19敗	70勝6敗14休	70勝20敗	69勝21敗	63勝27敗	75勝15敗	75勝15敗	73勝17敗	63勝27敗	77勝12敗1休	73勝17敗	71勝19敗	77勝13敗	80勝10敗	82勝8敗(新記録)	77勝13敗
優勝回数	3回	2回	1回	3回	4回	3回	4回	2回	1回	3回	1回	1回	1回	2回	3回	3回	1回	3回	2回	2回	2回	2回	5回	3回

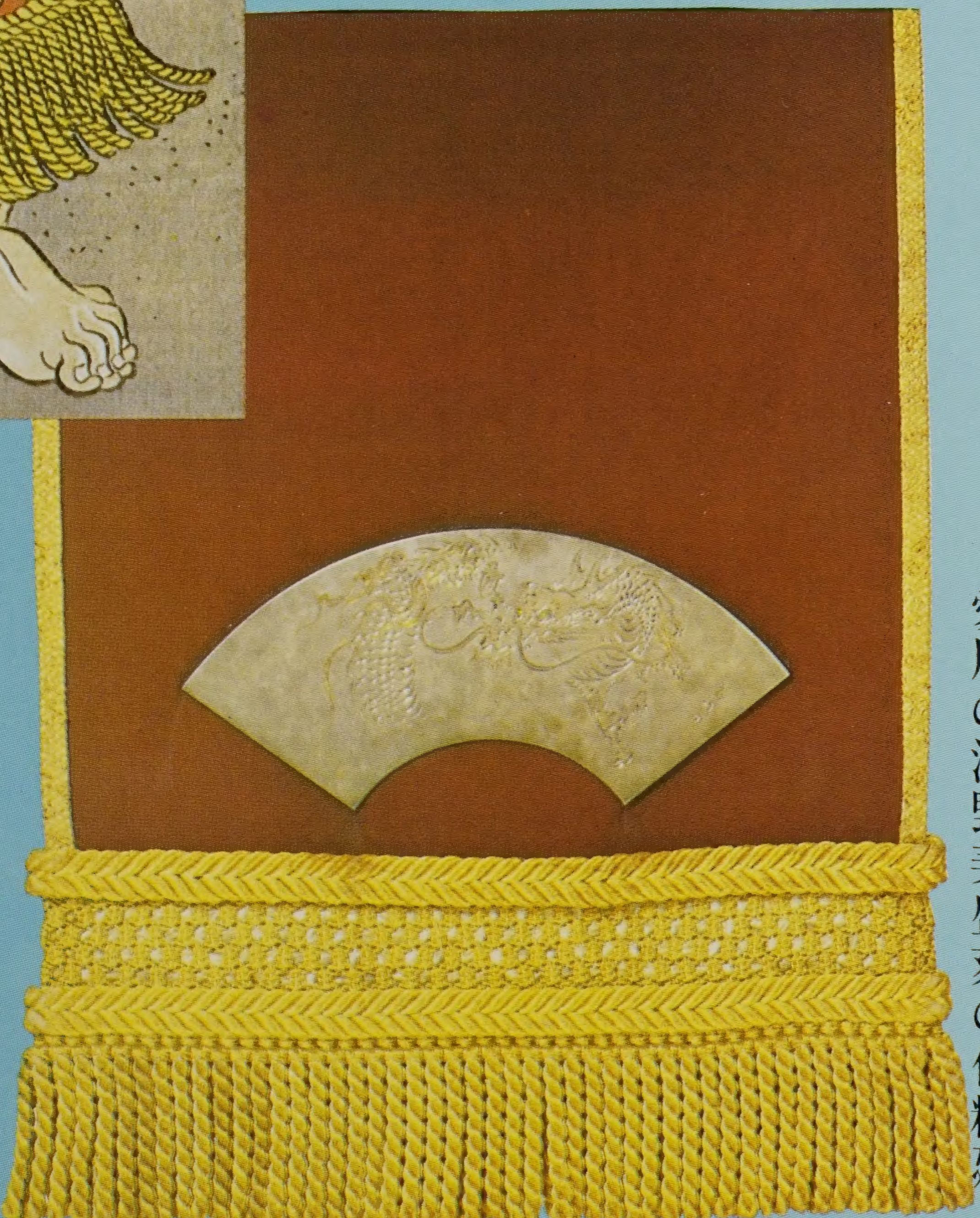
二十七代 横綱 栃木山守也の資料

英春画



栃木山直筆

手形



愛用の海野美盛刻の化粧廻

明治神宮全日本力士選士権章

還暦祝土俵入りに使用の綱

大日本相撲選士権章

昭和55年本場所日程表

本場所	開催地	番付発表	初日	千秋楽
1月場所	東京	54年 12月24日	1月6日	1月20日
3月場所	大阪	2月25日	3月9日	3月23日
5月場所	東京	4月28日	5月11日	5月25日
7月場所	名古屋	6月23日	7月6日	7月20日
9月場所	東京	9月1日	9月14日	9月28日
11月場所	福岡	10月27日	11月9日	11月23日

起し役

前相撲が夜明け前から行われていた、明治から大正時代には、明け方の午前三時になると、一番太鼓が打たれ、それと同時に、『大相撲協会』と記された古風な弓張提灯を腰にまとった起し役が、拍子木を叩きながら、相撲部屋を廻り、前相撲に出場する新弟子連中を起し歩いたものです。

大正四年春場所の前相撲は、本中80人に、新弟子100人が加わり、午前三時から始まった前相撲が、終了したのは午前六時を過ぎたという記録があります。

因に当時の新弟子検査基準は、体重のみで、20才以下が17貫(六三、七五〇キロ)以上、21才以上が19貫(七一、二五〇キロ)以上でした。

相撲案内所

国技館

11号案内所	↑	10号案内所
12号案内所		9号案内所
13号案内所		8号案内所
14号案内所	通	7号案内所
15号案内所		6号案内所
16号案内所		5号案内所
17号案内所	路	4号案内所
18号案内所		3号案内所
19号案内所		2号案内所
20号案内所	↑	1号案内所

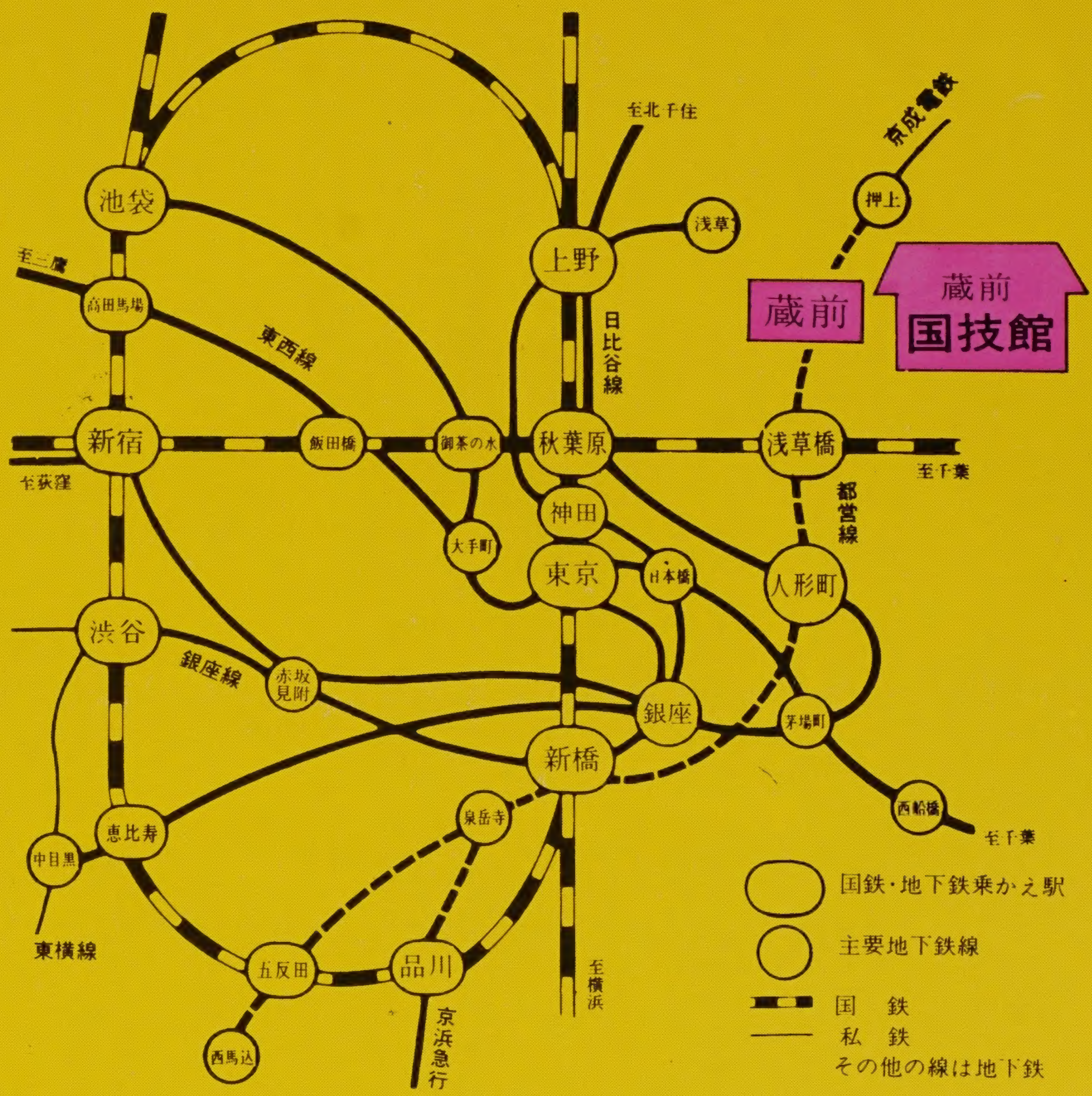
入口

相撲案内所風景

交通ご案内

● 国電(総武線)浅草橋駅下車徒歩…10分

● 都営地下鉄浅草線蔵前駅下車…… 2 分



当日御入場の際、御席での料理、飲食、みやげ物については各案内所で承っておりますので申しつけて下さい。なお、御招待等の場合は、電話での御予約も致しますので御予算の範囲内で御接待申上げます。

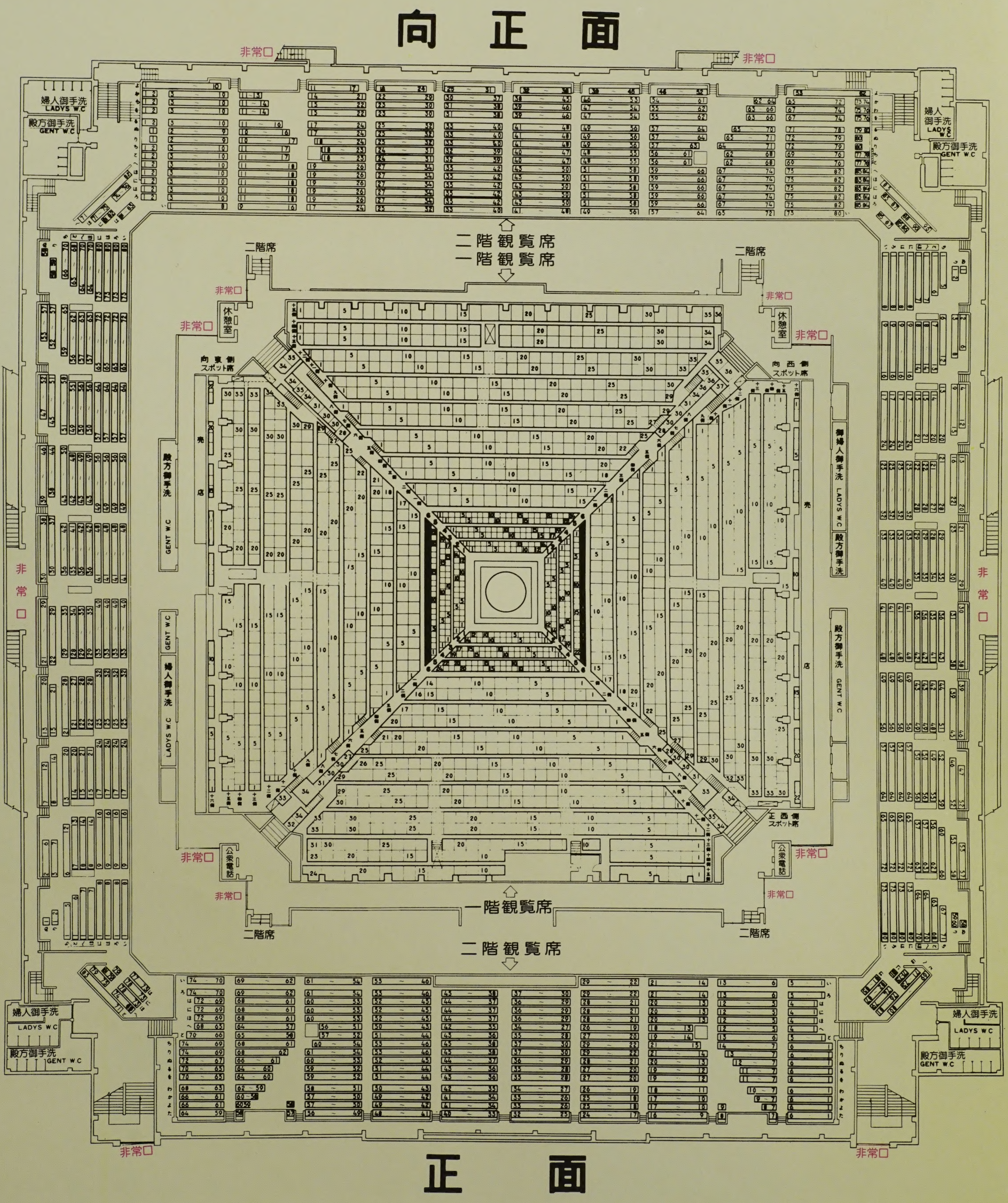
また、館内には、食堂、売店もございますので御利用下さい。

※お忘れ物、遺失物がありましたら、各自の観覧をしていたお席番号を確かめて相撲協会事務所または各案内所へお申し出下さい。

※相撲ご観覧についてお気づきの点がございましたら相撲サービス(株)まで御申し出願います。　電話 851―3281～3

発　行　昭和55年1月6日
発行所　東京都台東区蔵前2丁目1番9号
発行所　日本相撲協会
監　修　伊勢ノ海裕丈
印刷所　精工印刷株式会社
＊本誌掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。
定　価　350円

館内案内図



おねがい

⦿交通混雑と自動車による公害の発生を抑制するため、マイカーでの御来場は御遠慮下さい。
⦿おたばこは火災予防その他危険防止、公衆衛生のため必ず喫煙所又は廊下の灰皿をご利用下さるようお願い申し上げます。
⦿殿方・ご婦人用お手洗は東西南北と二階四隅にございます。
⦿非常口は両側にございます。

相 撲 人 形 （江戸時代の御所人形）

1980.1.

財団法人 日本相撲協会